

順天堂医院ニュース 2010 NO.32

新任教授紹介

糖尿病・内分泌内科

平成 22 年 6 月 1 日に糖尿病・内分泌内科教授に就任いたしました。当科は糖尿病、高脂血症、痛風といった代謝疾患と甲状腺、副腎、脳下垂体といったホルモンをつくる臓器の病気を担当しております。当科の病気の特徴は慢性疾患が多いことであり、患者さんは、病気と上手く付き合うことが大切です。他の病気と同じように、私が専門としております糖尿病に関しましても、患者さん自身のセルフケアが治療の中核です。治療の中心に位置する患者さんが、糖尿病という病気をしっかり理解され、私達が最新の知識をもとに提案する治療法に納得して、治療を受けていただけるようにサポートして行きます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



糖尿病・内分泌内科
綿田 裕孝

新任教授紹介

形成外科

このたび平成 22 年 6 月 1 日付で順天堂医院形成外科教授に就任いたしました水野博司です。平素より皆さまにおかれましては当院にご来院いただき厚く御礼申し上げます。

形成外科という診療科は、小児先天異常(唇裂、口蓋裂、多指症、頭蓋顔面変形など)、顔面外傷(骨折、傷跡など)、熱傷とその後に生じた皮膚の引きつれ、皮膚腫瘍(良性と悪性)、血管腫、ケロイド、そしてがん摘出後の組織再建(乳房再建、顎顔面再建、四肢の再建)などを主に対象としておりますが、近年では人口の高齢化に伴い、糖尿病や血行障害で起こる足壊疽救肢治療やフットケア、抗加齢医療(眼瞼下垂、レーザー治療など)なども形成外科で取り扱い、まさに小さなお子さまから高齢者の方々全てが対象の診療科です。どんな些細なことでも構いませんのでお気軽に外来にてご相談ください。

今後ともこれまで以上にスタッフ一同、患者さんの治療と生活の質の向上にお役にたてるよう努めてまいりたいと存じます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



形成外科
水野 博司

がん診療連携拠点病院について

がん治療センター 鶴丸昌彦

がんに罹る人は増え、最近では男性は2人に1人、女性は3人に1人が罹ると言われています。厚労省はがん制圧のために「がん対策推進基本計画」を立て、がん制圧を目指しています。その中核となるのが「がん診療連携拠点病院」です。平成22年4月からは新たに当院も含めて全国で375施設（東京都では14施設）が拠点病院に認定されました。順天堂医院ではがんの患者さんに対してハイレベルの治療だけでなく、質の高い生活が送れるようこころのケアや相談ごとにも積極的に応じています。順天堂医院はがん診療のトータルケアのメッカとなれるよう努力しております。何でもご相談ください。



がん治療センター
センター長
鶴丸 昌彦



当科における胸部超音波検査は 1985 年に始まり、本年 4 月の時点でのべ検査件数は 6250 例を数えています。これは国内の医療機関の中でも有数であり、当科の大きな特色のひとつです。特に我々は、超音波で病変を描出しながら、体外から穿刺針を刺入し胸水や組織・細胞を採取する超音波ガイド下穿刺という診断手技を用いています。これは、他の検査で診断困難な小さな末梢の肺内病変（図1）や微量胸水（図2）でもアプローチが可能です。また、針先の位置が超音波画像で確認出来るので、正常な肺や血管を傷つけて生じる気胸（肺に空気漏れが生じ、縮んでしまう）・出血などの合併症がほとんどなく安全であることも大きな利点です。



教授
高橋 和久



准教授
関谷 充晃

図1. 末梢肺がん

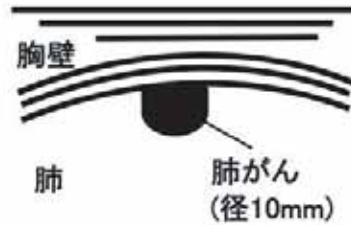
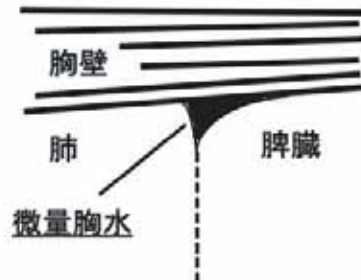


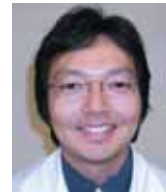
図2. 微量胸水



肝移植は終末期肝疾患に対する手術として確立された治療法です。最近では肝臓がんを合併した症例やC型肝炎も良い適応であり、良好な成績が報告されています。日本の肝移植の99%は血縁者や配偶者など親族が肝臓の一部を提供する生体肝移植です。当科では信州大学在任期を含めこれまで236例の肝移植を執刀し、この分野のリーダーの一人である川崎誠治教授を中心とするチームで生体肝移植を行っております。当科の生体肝移植の特徴は、ドナーの安全性を第一に考慮して全例で左葉グラフトを用いています（全国的には右葉グラフトが主流）。2003年より2010年4月まで49件の生体肝移植手術を行っておりレシピエントの1年生存率98%、3年生存率95%と全国平均と比較しても大変良好な成績です。



教授
川崎 誠治



先任准教授
石崎 陽一

生体肝移植適応疾患

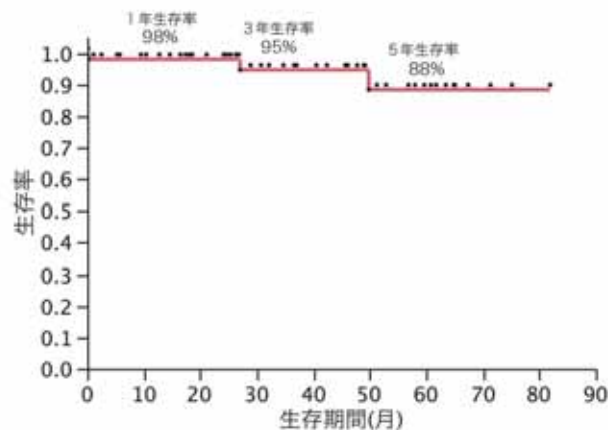
A. 適応疾患(成人)

- ・ 肝細胞性疾患(C型肝炎、B型肝炎、アルコール性肝硬変、自己免疫性肝炎、他)
- ・ 胆汁うっ滞性疾患 (原発性胆汁性肝硬変、原発性硬化性胆管炎、他)
- ・ 腫瘍性疾患 (肝細胞癌、類上皮血管内皮腫、他)
- ・ 代謝性疾患 (ウイルソン病、遺伝性ヘモクロマトーシス、アルファアンチトリプシン欠損症、家族性アミロイドポリニューロパシー、シトルリン血症、他)
- ・ 血管性疾患 (バッド・キアリ症候群、他)
- ・ 急性肝不全

B. 適応疾患(小児)

- ・ 胆汁うっ滞性疾患 (胆道閉鎖症、バイエル病、アラジル症候群、他)
- ・ 代謝性疾患 (クリグラー・ナジャー症候群、チロジン血症、ウイルソン病、OTC欠損症、他)
- ・ 腫瘍性疾患 (肝芽腫、他)
- ・ その他 (嚢胞性線維症、他)

生体肝移植後の生存曲線 (49例)



子どもの消化管内視鏡検査

小児科・思春期科 工藤孝広

小児科領域でも腹痛、嘔吐、下痢、吐血、血便などの症状がある場合には消化管内視鏡検査を行うことがあります。検査は鎮静下で行っていますが、小児では不安や恐怖が先行したり、検査自体で苦痛を伴うことがあります。そこで当科では、①病気・医療行為・治療に対する理解を促す、②誤解や不安を軽減する、③自己の感情を

表現する機会を与える、などの目的で「プレパレーション」を行っています。プレパレーションとは、認知発達段階に応じた方法で病気に関する情報を子どもに説明し心の準備をする機会をつくることです。写真入りの子ども向けガイドブックや人形を用い、検査の必要性とその方法、手順などについて情報提供を行い、検査に対する不安を少しでも軽減できるように努力しています。



教授
清水 俊明



助教
工藤 孝広



助教
青柳 陽

「検査はどうやってするの？」

① 看護師さんと一緒に検査のお部屋に行きます。
検査のお部屋についたら、検査室で担当してくる看護師さんが迎えてくれます。病棟の看護師さんは検査が終わったらお迎えに来ます。

② ベッドの用意ができれば、ベッドの上にあがり、向きに横になってください。

③ 検査の間は、自動血圧計のマニシェットをずっと腕に巻いておきます。血圧は5分間隔で測られるので、そのときは腕がぎゅーっとしめる感じがします。

④ 検査中の呼吸の様子を見るために、クリップを指にはめます。モニターが「びっ、びっ」と聞こえます。

⑤ 口をあけてマウスピースをかみます。よだれは飲み込みます。口元のタオルにだらーっとたらしましょう。






図の説明

「もしもしガイドブック」(左)、プレパレーションの実際(右)

脳疾患の拡散テンソル解析： トラクトグラフィーと定量解析

放射線科 堀 正明

拡散テンソル解析とは、最先端の脳 MRI の撮り方で、いままで見ることのできなかった脳の白質線維を解析するものです。

それにより脳の配線に相当する白質線維を、立体的に画像化(トラクトグラフィー)することが可能です。

通常、他の MRI 撮像法に追加して行い、時間は5~7分程度です。拡散テンソル解析では、アルツハイマー病、正常圧水頭症、パーキンソン病といった疾患や加齢における、人間の目でとらえられないような微細な変化を、定量的に数字として評価することが可能です。

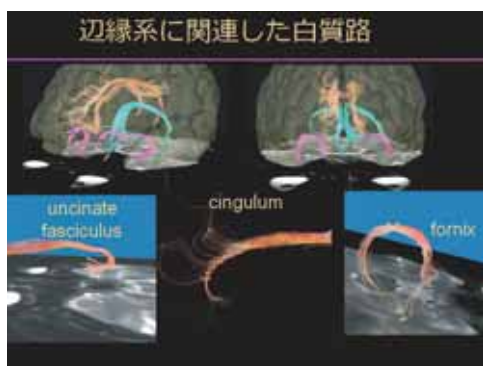
当科では、このような先進的な検査手段を通じて、皆さまのお役に立ちたいと思っております。



教授
青木 茂樹



准教授
堀 正明



薬剤部ニュース

☆～入院時のお薬管理について～☆

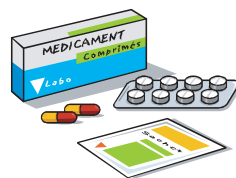
薬剤部では2009年3月より、入院時、患者さんにお持ちいただいた薬を薬剤師が管理するようにしています。患者さんが普段お使いになっている薬(飲み薬・点眼薬・貼り薬・注射剤・市販のサプリメントなど)をすべて入院時にお預かりいたします。

薬剤師は、これらの薬の使用状況・お持ちいただいた薬の数、他の医療機関からの処方内容等を確認し、医師・看護師に伝えています。

この目的は①自宅で使用している薬を入院中に継続して使用するかどうか確認する。

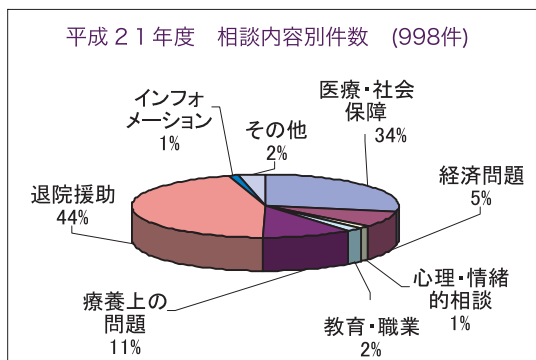
- ② 同じ種類の薬の重複使用を避ける。
 - ③ 飲み合わせの悪い薬などを事前にチェックする。
 - ④ 手術や検査時に中止が必要な薬を入院時に確認する。
 - ⑤ 患者さんへ薬の使用方法について薬剤師からアドバイスする。
- などです。

日常使用している薬について正確にお知らせいただくことは、入院中・退院後の治療をより安全、適切に行う上で、とても大切なことです。ご入院の際は、薬とともに薬袋・薬の説明書やお薬手帳等も一緒にお持ちください。



医療福祉相談室ニュース

☆ 年々、ご相談の数が増えています。平成21年度に当室で受けた相談内容の割合は、次のとおりです。



昨年度、当室で新しく受けた相談は998件でした。一昨年よりも、約250件増加しています。

一番多い相談内容は「**退院に関する援助**」で、当院での入院治療を終えられた患者さんの療養先についてのご相談が約半数を占めました。

「リハビリテーション専門病院や介護療養型病院はどうやって探せばいいか?」「介護保険サービスを利用して自宅で生活

をするにはどうしたらいいか?」といったご相談を受けて、地域の病院やサービス提供機関と連絡をとりあいながらお手伝いしています。

次いで「**医療・社会保障制度**」についての相談が多く、高額療養費限度額適用認定証の手続きの案内や、身体障害者手帳や特定疾患、介護保険の申請の説明などを主にしております。

★4名のソーシャルワーカーが相談にのっておりますが、お待たせすることが多くなってきております。お手数ですがご相談をご希望の際には**事前に電話予約(03-5802-1207)**をいただければ幸いです。

栄養部ニュース

ミネラル「カリウム」のはなし



今日は「カリウム」についてご紹介します。

カリウムはミネラルの一種です。ナトリウムを排出する作用があり、カリウム摂取量を増加することによって、血圧低下、脳卒中予防、骨粗鬆症予防につながることが示唆されています。

カリウムの目安量は、日本人食事摂取基準によると、男性2,500mg/日、女性2,000mg/日です。

多く含むものは、生野菜、生フルーツ、海藻、芋類です。水溶性で、茹でると出てしまうので、生もしくは蒸したり、焼いたりするのが良いです。

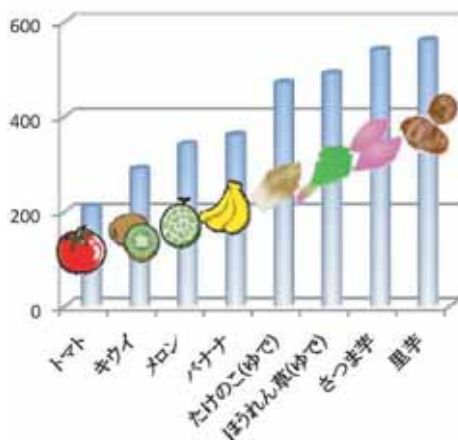
過剰摂取には注意し、バランスのとれた食事をこころがけましょう。

注意：腎臓や心臓に疾患のある方は、担当医に相談が必要です。



管理栄養士 梶原 ゆき

カリウムを多く含む食品(100g中)



看護部ニュース

看護師のユニフォームが変わりました!!

従来採用していましたグレーとピンクのユニフォームに変わり、今年度より写真のような白地にラベンダーと、ピンク地に白色のユニフォームに変更致しました。

以前のユニフォームより機能性とデザイン性に優れ、清潔感あふれるユニフォームになっています。また、手術室看護師・産科病棟の助産師はそれぞれ業務内容に合わせた機能的なユニフォームを、救急プライマリーケアセンターの看護師は医師と同様の救急担当用のユニフォームを着用しています。

来院される皆さまをさまざまな看護の場面でサポートできるよう、新しいユニフォームで気持ちも新たに取り組んでいます。是非お気軽にご相談ください。

師長 根岸万里子



手術室看護師



NEWユニフォーム



救急プライマリーケアセンター



助産師

順天堂医院の今昔



順天堂医院のロビー

順天堂医院は明治8年(1875)に湯島に新築開院したが、当時の他の大病院は大名屋敷の大広間に、患者が雑魚寝している状態であった。順天堂では開院にあたり個室を設けることにしたが、個室のある大きな建物が珍しい時代であった。やむなく吉原の郭をモデルに2階建の建物が建てられた。図は患者が玄関で履物を脱いで待合室に上がり、畳を敷いた大広間で一段高い場所にある会計の前に跪いている。それから100年後、病院はホテルとまがうような広々としたエントランスになり、患者さんへの対応も大きく変わった。こんな時代が来るとは、昭和40年代はじめてすら考えられなかった。

順天堂大学医学部医学史学研究室
特任教授 酒井シヅ

順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL: 03-3813-3111(代表)

編集 病院広報委員会
発行 医療連携室(平成22年7月発行)

ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索

